

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名

【 熊本県 】 熊本市立長嶺小学校

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	生徒 693 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	(1) 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高める。 (2) オリンピアンの方の生き方を学ぶ。
5 取組内容	平成30年1月25日(水)に、本校体育館にて、伊藤友広氏による講演を実施した。 講演では、パラリンピアンによる講演会及び実技指導 平成30年1月24日(水)に本校にて、伊藤友広氏(4×400mリレー：アテネ大会4位)を迎え、講演会及び実技指導を行った。 (1) 講演 講演では、まず伊藤氏が出場した2004年のアテネ大会の4×400mリレーの映像を見ながら、レースの解説を行っていただいた。その上で、夢について4つの視点からお話していただいた。 ①「夢は変わっていい」 子どもの頃の夢をそのまま叶える人もいれば、夢を少しずつ変えながら叶える人もいる、ということである。 ②「好きなこと・得意なことを知ろう」 自分ってどんな人間だろうと考えて自分を知ることが大切である。 ③夢と目標は違う 夢を叶えるためには、身近にクリアできるような目標を達成していくと少しずつ夢に近づく。

	④ 夢・目標を達成させる人は「やり抜く力」が高い 能力が高い人が成功しているのではなく、決めたことに対して最後までしっかりやり抜く人が成功する確率が高い。 (2) 実技指導 速く走るコツについて指導
6 主な成果	講演内容からみる成果 夢をもつことの大切さやそれを叶えるために必要なことについて理解した。
7実践において工夫した点 (事業の 特色)	体育館の中で、パフォーマンスを披露することで子どもたちの興味・関心を持たせることができた。
8主な課題等	次年度に向けて、継続的な事業の実施。
9来年度以降 の実施予定	パラリンピアンによる事業予定